

令和二年度の三年生の部活動は、総体もないまま終わりました。部としては、掲げていた夢や目標が無くなり、悔しかったです。しかし、七月二十三日に学校対抗の団体戦を開催していただきました。苦業をともにしてきた最高の仲間たちとソフトテニスをする、勝利を喜び合う、最高の時間を過ごすことができました。最後の決勝戦では、チーム一丸となり勝利することができました。このソフトテニス部でみんなと過ごした日々や得た経験の全てが、とても良い思い出です。

ソフトテニス部 (男子)

ソフトテニスから得たもの

I



ソフトテニス部 (女子)

仲間

K

私が三年間の部活動を通して学んだことは、仲間の大切さです。ソフトテニスはダブルスでする競技なので、ペアの大切さはもちろん、団体戦のチームみんなの大切さをこの三年間でたくさん実感しました。キャプテンとして、チームをまとめるという重要な役割を果たすことができましたのも、仲間の支えがあったからです。部活動は技術も大切ですが、仲間とともに時には励まし合い、時には一緒に悩んだりすることで、みんなで成長できたと思います。大切な仲間の存在に気づけて良かったです。

バレーボール部 (男子)

部長になって

S



僕は昨年の八月にバレーボール部の部長に選ばれました。二年の時の部長は、みんなをまとめたり、士気を高めたりしながら、素早い判断力でチームをひっぱっていました。僕もそんな部長を目指そうと思いましたが、実際はミスばかりで、最初は毎日不安でした。しかし、一緒に頑張ってきた仲間や指導してくださる先生、いつも応援してくれる両親に支えられ、部長として最後まで楽しくバレーボールをすることができました。僕は部長となって、仲間の大切さと、仲間と共に成長する楽しさを知りました。本当に感謝しています。

バレーボール部 (女子)

強敵

S



私たちは、二年四か月の部活動で、「人間性」を高めることができました。そのきっかけとなったのが、私たちの前に現れた【強敵】の存在です。私たちは相手の考えを分析し、【強敵】との「戦い」を開始しました。【強敵】は手強く、苦しいことも数多くありましたが、仲間がいてくれたおかげで、最後にはその「戦い」に勝利しました。かけがえない仲間と共に、これからもいろいろなことに挑戦していきたいと思えます。



卓球部(男子)

卓球部の活動を通して

T

僕は卓球部の活動を通して、キャプテンとしてみんなをまとめていくことの難しさを学びました。また、出場を決めていた団体戦の全国大会がなくなくなり、次の目標に気持ちを切り替えることが難しかったです。そんな中でも、出場を決めるまでの過程でたくさんの人に支えてもらい、成果をあげることができたことに感謝しています。そのことを忘れず、これからの生活に生かしていきたいです。

卓球部(女子)

部活動の大切さ

T

私は三年間を通して、チームワークの大切さや、負けたとしても次のステップに向けて頑張る粘り強さ、試合に勝つための技術を身に付ける努力の姿勢を学ぶことができました。三年間、共に戦い、励まし合った仲間や尊敬できる先輩や頼れる後輩がいたから、私にとって部活動は有意義なものとなりました。三年生にとって最後の総体は、コロナウイルス感染症の影響で中止になってしまったけれど、その分、後輩たちにはこれからさらに活躍して欲しいと願っています！



ソフトボール部(女子)

ソフトボール部での三年間

T

私が三年間ソフトボール部に所属して学んだことは、仲間とのチームワークを大切にし、協力し合うということだと思います。三年生は私一人だけだったので、しんどいことや悩むことも多く、何度もくじけそうになりました。さらに、新型コロナウイルスの影響もあって、総体も出られませんでした。しかし、交流戦があり、最後までしっかり頑張れたので良かったです。

硬式テニス

努力は必ずむくわれる

H

私が硬式テニスを通して学んだことは、「努力は必ずむくわれる」ということです。硬式テニス部は、学校ではなく、小さい公園で練習しています。部員は少ないですが、その分一人一人一生懸命練習を頑張りました。その結果、団体戦では二回、全国大会に出場することができました。全国大会出場が決まった時、「一生懸命練習してきた良かった」と心から思い、とても嬉しかったです。後輩たちにも、一生懸命練習して、この喜びを味わってほしいです。また、来年から私は高校生です。高校生になっても、毎日努力し続けたいです。

